

# 胆嚢結石合併総胆管結石に対して、胆嚢摘出術前の胆管ステント留置の胆管炎予防効果を検討するための後向き試験に関する研究

## 1. 研究の対象

2018年4月1日～2021年3月31日の間に当院で総胆管結石症にて内視鏡治療を行ない、その後胆嚢摘出術を施行した患者さん

## 2. 研究目的・方法

胆嚢結石を合併した総胆管結石の治療では、内視鏡治療で結石を取り除いた後、胆嚢を摘出する手術を行う事が推奨されています。しかし、手術を待っている間に再発をしてしまうことがあり問題となります。この対策として、当院では患者さんの状態に応じて胆管ステントを手術前に留置しています。しかし、胆嚢を摘出した手術前後の胆管ステントの有用性は明らかになってはいません。

この研究では胆管ステントを手術前に留置した症例において、手術前後の胆管炎を予防することができるかを検証します。

研究機関は病院長承認日から2024年3月31日です。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、内視鏡治療に関する情報、胆嚢摘出術に関する情報、

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

静岡県磐田市大久保 512-3

研究責任者：磐田市立総合病院 消化器内科 科長 金子淳一

電話：0538-38-5000